

救急医学講座 (高度救命救急センターを含む)

著 書

- 1 阪本雄一郎：腹部刺創. 今日の治療指針私はこう治療している p58. 医学書院 2016.
- 2 阪本雄一郎：局所麻酔法. 今日の治療指針私はこう治療している p59. 医学書院 2016.
- 3 阪本雄一郎：救急・集中治療における標準治療, ガイドライン. 救急・集中治療医学レビュー最新主要文献と解説2016-'17 p332-337. 総合医学社 2016.
- 4 *安西一正, 石原 晋, 石原武司, 一柳 保, 井上潤一, 大友康裕, 大貫隆広, 小澤和弘, 加藤 宏, 加藤正哉, 金子直之, 金丸勝弘, 清住哲郎, 小林國男, 今 明秀, 坂本哲也, 阪本雄一郎, 篠崎正博, 清水彰一郎, 管谷由紀夫, 須田志優, 関根和弘, 高山隼人, 瀧野昌也, 竹内秀夫, 田尻浩明, 田勢長一郎, 田中秀治, 鶴岡 信, 徳永尊彦, 根本 学, 畑中哲生, 早川達也, 張替喜世一, 本間正人, 松岡哲也, 松田 潔, 松田 繁, 松本 尚, 間渕則文, 六車 崇, 森 保彦, 森出智晴, 森村尚登, 山崎元靖, 横田順一郎, 横山正巳 (50音順): 改訂第2版 JPTEC ガイドブック. へるす出版 2016.
- 5 阪本雄一郎：敗血症に続発する凝固・線溶障害の予防. 救急看護ケア・アクセスメントとトリアージ 敗血症・敗血症性ショック2016. 6・7月号 p14-23. 日総研 2016.
- 6 今長谷尚史：血液・凝固の評価. プライマリケアと救急を中心とした総合誌レジデントノート 2016, 11月号 Vol. 18 : No. 12, p2270-2276. 羊土社 2016.
- 7 阪本雄一郎：よく見られる突然死窒息・誤嚥. 臨牀と研究 93(11), 47-51, 大同学館出版部 2016.

原著論文

- 1 *Izawa S, Nakamura-Taira N, Yamada KC: Stress Underestimation and Mental Health Outcomes in Male Japanese Workers: a 1-Year Prospective Study. International Journal of Behavioral Medicine 2016; 23(6): 664-669.
- 2 阪本雄一郎：工学による救急要請革命. 交通事故自動通報による救急医療革命 p 1 -12, 2016.
- 3 Koami H, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Goto A, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Miike T, Nagashima F, Iwamura T, Yamada KC, Inoue S: Utility of Measurement of Serum Lactate in Diagnosis of Coagulopathy Associated with Peripheral Circulatory Insufficiency: Retrospective Evaluation Using Thromboelastometry from a Single Center in Japan. Journal of Nippon Medical School Vol.83, No.4, 2016.
- 4 Koami H, Sakamoto Y, Furukawa T, Imahase H, Iwamura T, Inoue S: Utility of Rotational thromboelastometry (ROTEM) for the diagnosis of asymptomatic hyperfibrinolysis secondary to anaphylaxis. Blood Coagulation and Fibrinolysis Vol.27, No.4, p.450-453, 2016.
- 5 Koami H, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Miike T, Nagashima F, Iwamura T, Yamada KC, Inoue S: The thromboelastometric discrepancy between septic and trauma induced disseminated intravascular coagulation diagnosed by the scoring system from the Japanese Association for Acute Medicine. Medicine (Baltimore) Vol.95, No.31, e4514, 2016.
- 6 Miike T, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Goto A, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Koami H,

Yamada KC, Fujita R, Nagashima F, Iwamura T, Inoue S: Effects of hyperbaric exposure on thrombus formation. Undersea Hyperb Med, 2016.

- 7 *小野原貴之, 阪本雄一郎, 小網博之, 岩永幸子, 成田佳祐: 佐賀県内離島における佐賀ドクターヘリ活用の現状と評価. 日本航空医療学会雑誌 2016 Vol. 17: No. 1, p11-18, 2016.

総 説

- 1 八幡真由子, 阪本雄一郎: 特集: 救命救急療法 update 抗 DIC 療法. 日本臨牀 第74巻第2号 別冊 p. 257-261, 2016.
- 2 阪本雄一郎, 小網博之, 三池 徹: 外傷性凝固障害とビスコエラスティックデバイス. 日本血栓止血学会誌 Vol. 27 (2016): No. 4, p. 408-419, 2016.
- 3 阪本雄一郎, 小網博之, 三池 徹: 外傷と Viscoelastic Device. Thrombosis Medicine VOL. 6: No. 2, p. 51-57, 2016.
- 4 Sakamoto Y: Usefulness of the endotoxin activity assay to evaluate the degree of lung injury. Journal of Rare Diseases Research & Treatment. 1(3): p.27-30, 2016.

症例報告

- 1 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎, 岡 和幸, 番匠谷友紀, 小林誠人: 一時心停止に陥った溶血性連鎖球菌による原発性腹膜炎の一例. 2016日本救急医学会雑誌 27: p. 35-40.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Koami H, Sakamoto Y, Inoue S: FIBTEM promptly determines massive transfusion of FFP in severe trauma patient. 39th Annual Conference on Shock. 2016, 6, 13.
- 2 Yamada KC, Nakamura-Taira N, Izawa S: Association between stress underestimation and information about mental health among Japanese workers. The 31st International Congress of Psychology (ICP 2016). 2016, 7, 24-29. Int J Psychol. 51 (Supplement 1): 710.
- 3 Yamada K, Hope T, Watanabe K, Sunaga T, Kobayakawa M, Nishimura T: A qualitative comparison of paper and electronic health records of nursing in a university hospital in Japan. The 4th International Conference on Serviceology (ICServ 2016). 2016, 9, 6-8.
- 4 Koami H, Sakamoto Y, Yamada KC, Inoue S: Thromboelastometric analysis on the risk factors of return of spontaneous circulation in adult patients with out-of-hospital cardiac arrest. 8th congress of international federation of shock societies in Tokyo. 2016, 10, 5.
- 5 Koami H, Sakamoto Y, Inoue S: Higher concentration of antithrombin administration improve clinical outcome in patients with septic disseminated intravascular coagulation. Critical Care Canada Forum 2016. 2016, 10, 31.
- 6 Yamada KC, Sakamoto Y, Fujii S: Impact of diabetes mellitus on hospitalization charges of patients with sepsis: a single-center retrospective study in Japan. 41st ANZICS/ACCCN ASM Annual Scientific Meeting 2016 Perth, Australia. 2016, 10, 20-22. 41st ANZICS/ACCCN ASM AND THE 22ND ANNUAL PAEDIATRIC AND NEONATAL INTENSIVE CARE CONFERENCE p94.
- 7 Yamada KC, Izawa S, Nakamura-Taira N, Tanoue A: The impact of fear appeals about mental health on internet behavior in Japanese workers: an experimental study. The 14th International Congress of Behavioral Medicine (ICBM 2016). 2016, 12, 7-10. 14th International Congress of Behav-

ioral Medicine, Abstract, 74.

国内全国規模の学会

- 1 小網博之, 阪本雄一郎, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 山田クリス孝介, 井上 聡: Thoromboelastometry (ROTEM) を用いた院外心停止症例の来院後自己心拍再開を規定する因子の検討. 第43回日本集中治療医学会学術集会 (シンポジウム15 心肺蘇生・体温管理). 2016, 2, 11-14.
- 2 *藤田 亮, 阪本雄一郎, 後藤明子, 今長谷尚史, 八幡真由子, 小網博之, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: Septic shock を契機に発見された急性骨髄性白血病の一例. 第43回日本集中治療医学会学術集会 (一般演題 ポスター FP). 2016, 2, 11-14.
- 3 三池 徹, 阪本雄一郎, 西本哲也: 頭部開頭衝撃実験で得られた生理的パラメータ変化と血栓形成能への影響. 第39回日本脳神経外傷学会 (シンポジウム6). 2016, 2, 26-27. 第39回日本脳神経外傷学会 p7.
- 4 八幡真由子, 阪本雄一郎, 隈本圭吾: 多数傷病者受け入れに際しての柔道整復師会との連携. 第21回日本集団災害医学会総会・学術集会 (要望演題7). 2016, 2, 27-29.
- 5 永嶋 太, 阪本雄一郎, 井上 聡, 小網博之: 当施設における外傷に特化した Acute care surgeon 育成プログラム. 第52回日本腹部救急医学会総会 (パネルディスカッション1-06). 2016, 3, 3-4. 第52回日本腹部救急医学会総会 p340.
- 6 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 山田クリス孝介, 井上 聡: 腹腔内感染源別における凝固障害の機能解析. 第52回日本腹部救急医学会総会 (一般演題5-02). 2016, 3, 3-4. 第52回日本腹部救急医学会総会 p430.
- 7 *渡辺健太郎, Tom Hope, 山田クリス孝介: 看護サービスのデジタル化: その課題分析. サービス学会第4回国内大会. 2016, 3, 28-29.
- 8 井上 聡, 永嶋 太, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎: 当院における外傷外科チームの発足と治療成績. 第116回日本外科学会定期学術集会 (ポスターセッション187救急 外傷). 2016, 4, 14-16.
- 9 永嶋 太, 井上 聡, 岩村高志, 阪本雄一郎, 小網博之: DSI 後腹壁閉鎖困難症例に対する OAM: チュラロンコン大学での方法を学んで. 第30回日本外傷学会 (一般演題28 O-28-1). 2016, 5, 30-31. 日本外傷学会誌 2016 vol. 30: no. 2, p255.
- 10 岩村高志, 櫻井良太, 太田美穂, 小網博之, 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎: enteroatmospheric fistula の管理に難渋した多発外傷1例. 第30回日本外傷学会 (一般演題28 O-28-4). 2016, 5, 30-31. 日本外傷学会誌 2016 vol. 30: no. 2, p256.
- 11 *ホーフトム, 山田クリス孝介, 渡辺健太郎: Understanding caring events through narrative in paper and electronic health records. 2016年度人工知能学会全国大会 (第30回). 2016, 6, 6-9. 2016年度人工知能学会全国大会 (第30回) 論文集, 1J4-NFC-04a-3.
- 12 三池 徹, 阪本雄一郎: 急性一酸化炭素中毒患者における凝固変化と高気圧酸素治療の影響. 第13回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会学術集会総会 第7回日本高気圧酸素医療技術学会 (一般演題O-5 「減圧外傷 一酸化炭素中毒」). 2016, 6, 24-25. 第13回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会学術集会雑誌 vol. 13: no. 2, p72.

- 13 ○木村 崇, 西村徳泰, 田中 淳, 三池 徹, 阪本雄一郎: 当院の高気圧酸素治療業務の現状と課題. 第13回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会学術集会総会 第7回日本高気圧酸素医療技術学会 (特別セッション日本高気圧酸素医療技術学会特別企画「臨床工学技士からみた HBO の現状と課題」SS-3). 2016, 6, 24-25. 第13回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会学術集会雑誌 vol. 13 : no. 2, p84.
- 14 山田クリス孝介, 吉武良治, 松田文子, 大内啓子, 齋藤佑太, 泉 博之, 八木佳子, 松岡敏生, 榎原 毅: 日本人間工学会バーチャルミュージアム構想と学生プロジェクトの概要. 日本人間工学会第57回大会 (シンポジウム 2S5-1). 2016, 6, 25-26. 日本人間工学会第57回大会 p90-91.
- 15 *皆川和輝, 時田 郷, 押野沙紀, 村瀬裕子, 山田クリス孝介, 吉武良治: バーチャルミュージアムプロジェクトのプロセスと手法. 日本人間工学会第57回大会 (シンポジウム 2S5-2). 2016, 6, 25-26. 日本人間工学会第57回大会 p90-95.
- 16 松田知也, 梅香 満, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: バイ貝の摂取によりテトロドキシン中毒を発症し, 経時的なテトロドキシンの血中濃度の測定を行うことができた一例. 第38回日本中毒学会総会・学術集会 (一般演題4). 2016, 7, 23-24. 第38回日本中毒学会総会・学術集会 p202.
- 17 櫻井良太, 岩村高志, 中山賢人, 西 純平, 松田知也, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎: 高度肥満患者の呼吸不全に対し V-V ECMO を導入し, 救命した一例. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会 (一般演題06-4). 2016, 9, 16-17. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会プログラム・抄録集 p104.
- 18 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 永嶋 太, 櫻井良太, 太田美穂, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 岩村高志, 井上 聡: 敗血症患者の初期治療における優先事項は循環管理である. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会 (一般演題07-6). 2016, 9, 16-17. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会プログラム・抄録集 p104.
- 19 井上 聡, 永嶋 太, 岩村高志: 当院における自己完結型外傷外科チームの発足による新たな重症外傷診療体制. 第8回日本 Acute Care Surgery 学会 (シンポジウム1). 2016, 9, 23-24.
- 20 八幡真由子: 急性期血液浄化療法を敗血症症例に試行する際の背景因子と効果に関する検討. 第27回日本急性血液浄化学会学術集会 (パネルディスカッション1). 2016, 10, 28-29. 第27回日本急性血液浄化学会学術集会プログラム抄録集 Vol. 7, p57.
- 21 *佐藤友子, 大塚尚美, 本村友一, 中道親昭, 奥本克己, 阪本雄一郎, 山下典雄: 熊本地震における超急性期空路調整と九州の課題. 第23回日本航空医療学会総会 (シンポジウム II SY 2-6). 2016, 10, 28-29. 日本航空医療学会誌 2016. Vol. 17 : no. 2, p63.
- 22 山田クリス孝介, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 三池 徹, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太, 井上 聡, 阪本雄一郎: 佐賀県における救急医療への ICT の応用. 第44回日本救急医学会総会 (パネルディスカッション1). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9, p311.
- 23 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 線溶亢進は院外心停止症例の蘇生と関連する可能性がある. 第44回日本救急医学会総会 (口演13 : 心肺蘇生). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9, p427.

- 24 三池 徹, 阪本雄一郎, 岩村高志, 永嶋 太, 小網博之, 山田クリス孝介, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太, 井上 聡: 高気圧酸素治療が一酸化炭素中毒患者の凝固系に及ぼす影響 (TEG 6s を用いて). 第44回日本救急医学会総会 (口演30: 中毒). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p445.
- 25 福地絢子, 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 西 純平, 太田美穂, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 複数の症候を合併した神経因性食思不振症の集学的治療に成功した1例. 第44回日本救急医学会総会 (学生・研修医セッション ポスター7). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p392.
- 26 松田知也, 岩村高志, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎: Damage Control 戦略を用いることで, 救命できた広範大腸虚血の1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター13: 消化器感染症). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p512.
- 27 八幡真由子, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 熊本地震での佐賀 SCU を活用した佐賀県の広域搬送受け入れ体制の工夫と活動報告. 第44回日本救急医学会総会 (特別セッション「平成28年熊本地震」ポスター6). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p365.
- 28 井上 聡, 永嶋 太, 櫻井良太, 太田美穂, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎: 当院における重症外傷患者診療の改革. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター27: 外傷診療体). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p527.
- 29 小網博之, 阪本雄一郎, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 山田クリス孝介, 井上 聡: 重症外傷患者に対する MTP を補完するために Thromboelastometry をいかに活用すべきか?. 第44回日本救急医学会総会 (パネルディスカッション6). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p317.
- 30 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 小網博之, 三池 徹, 八幡真由子, 太田美穂, 梅香 満, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 山田クリス孝介: 敗血症患者の SOFA 分析から考える重症度評価について. 第44回日本救急医学会総会 (口演33: 敗血症, 重症度評価と予後判定1). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p448.
- 31 三池 徹, 阪本雄一郎, 岩村高志, 永嶋 太, 小網博之, 山田クリス孝介, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太, 井上 聡: 感染症患者における血小板機能の変化 (T-TAS® の解析から). 第44回日本救急医学会総会 (口演34: 敗血症, 重症度評価と予後判定2). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p449.
- 32 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 当院集中治療室での遺伝子組み換えアンチトロンビン製剤の使用状況ならびにその効果. 第44回日本救急医学会総会 (口演35: 敗血症, 治療1). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p450.
- 33 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎, 岩村高志, 太田美穂, 櫻井良太, 松田知也: 外科的固定術を施行したフレイルチェスト6例の検討. 第44回日本救急医学会総会 (口演39: 胸部外傷). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p454.
- 34 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永

- 嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: Thromboelastograph (TEG® 6s) と Thromboelastometry (RO-TEM®delta) は相関するか?. 第44回日本救急医学会総会 (口演47: ME・医療機器). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p463.
- 35 梅香 満, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 受傷前における胸水の存在が早期診断を困難にした外傷性血胸の1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター69: 胸部外傷2). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p569.
- 36 櫻井良太, 永嶋 太, 梅香 満, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 小網博之, 三池 徹, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 明らかな胸腹部外傷の合併なく発症した横隔膜ヘルニアの一例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター72: 外傷一般3). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p573.
- 37 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: Thromboelastograph (TEG 6®s) の線溶亢進の診断能について. 第44回日本救急医学会総会 (口演69: 血液凝固異常線溶異常). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p487.
- 38 永嶋 太, 阪本雄一郎, 岩村高志, 小網博之, 三池 徹, 梅香 満, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太: 二次性血小板増多症患者に対する Point of care testing の可能性. 第44回日本救急医学会総会 (口演69: 血液凝固異常線溶異常). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p488.
- 39 西 純平, 小網博之, 阪本雄一郎, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 早期からの集学的治療により救命し得たマイコプラズマ肺炎による重症 ARDS の1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター90: 呼吸器感染症). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p591.
- 40 太田美穂, 小網博之, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎, 小野南月: 血栓予防としてのヘパリンの濃度調整に Thromboelastograph (TEG) 6s を使用した2症例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター104: 集中治療2). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p606.
- 41 中山賢人, 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 血液浄化を行わずに救命し得たパラコート中毒の1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター109: 中毒6). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p611.
- 42 *中島厚士, 吉武邦将, 藤田 亮, 阪本雄一郎: 縊頸による心肺蘇生後にタコツボ型心筋症を発症した患者に目標体温管理 (TTM) を施行した1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター101: 冠動脈疾患ほか). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p603.
- 43 *藤田 亮, 吉武邦将, 中島厚士, 宮原貢一, 阪本雄一郎: 酸・アルカリ誤飲患者にいつ内視鏡を行いますか? ~内視鏡下洗浄・ステロイド局注療法を行った1例を踏まえて~. 第44回日本救急医学会総会 (パネルディスカッション13: 中毒診療の常識を見直す). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no 9, p326.
- 44 阪本雄一郎: 柔道整復師と高度救命救急センターへの連携~災害時対応を中心に~. 第25回日本柔

道整復接骨医学会学術大会（教育研修セミナー）. 2016, 11, 19-20. 第25回日本柔道整復接骨医学会学術大会プログラム, 抄録集 p45.

- 45 *井澤修平, 山田クリス孝介, 中村菜々子, 田上明日香: ウェブを利用したストレスの情報呈示に関する実験的研究: ストレスを過小に評価する労働者を対象として. 第29回日本健康心理学会. 2016, 11, 19-20. 第29回日本健康心理学会抄録集 139.
- 46 阪本雄一郎: Surviving Sepsis Campaign からみたアフエレシス. 第37回日本アフエレシス学会学術大会 (シンポジウム6). 2016, 11, 25-27. 日本アフエレシス学会誌 Vol35, p81.
- 47 三池 徹, 木下 学, 萩沢康介, 斉藤大蔵, 阪本雄一郎: 救急医における人口血小板への期待. 第23回日本血液代替物学会年次大会 (シンポジウム2-S16). 2016, 11, 24-25. 日本血液代替物学会誌 Vol24: no.12016, p25.
- 48 阪本雄一郎: ヒト救急医療におけるガイドラインの変遷. 第93回日本獣医麻酔外科学会(パネルディスカッション). 2016, 12, 2-3. 日本獣医麻酔外科学会誌 Vol47, p124.
- 49 小網博之, 阪本雄一郎: 全血凝固能検査で解析した遺伝子組み換えトロンボモジュリン製剤の抗凝固作用について. 第10回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム. 2016, 2, 20. 第10回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム p41.
- 50 小網博之, 阪本雄一郎, 井上 聡: Impact of haptoglobin on the association between inflammation and coagulation in a rat burn model. 第38回日本血栓止血学会 SPC シンポジウム. 2016, 6, 16. 日本血栓止血学会誌 Vol27: no 2, p152.
- 51 小網博之, 阪本雄一郎, 山田クリス孝介, 宮庄 拓, 井上 聡: 塩酸誤嚥ラットモデルにおけるリコモジュリンの抗炎症効果について. 第23回外科侵襲とサイトカイン研究会. 2016, 7, 9. 第23回外科侵襲とサイトカイン研究会 p23.
- 52 野中小百合, 川人 学, 山田クリス孝介, 藤井 進, 福島常浩, 末岡榮三朗, 宮崎耕治: 自己疾病管理を目的としたPHR カードの発行とサービスの開始と評価—佐賀 MIRCA—. 第36回医療情報学連合大会 (第17回日本医療情報学会学術大会). 2016, 11, 21-24. 第36回医療情報学連合大会プログラム・抄録集 261頁, 詳細抄録集 682-685頁.

地方規模の学会

- 1 永嶋 太, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎, 井上 聡: 当院におけるフレイル Chest に対する治療戦略. 第8回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 (一般演題6). 2016, 3, 23. 2016日本臨床外科学会雑誌 平成28年第77巻10号, p208.
- 2 永嶋 太, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎, 井上 聡: 重症外傷診療における off the job training course 受講とシミュレーション教育の重要性. 第9回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 (一般演題7). 2016, 3, 23. 2016日本臨床外科学会雑誌 平成28年第77巻10号, p209.
- 3 小網博之, 阪本雄一郎, 伊佐 勉: 門脈ガス血症を伴う腸管壊死症例を予測する診断基準の作成ならびに有効性の検証. 第9回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 (一般演題8). 2016, 3, 23. 2016日本臨床外科学会雑誌 平成28年第77巻10号, p209.
- 4 今長谷尚史, 松尾照美, 阪本雄一郎, 阪本典子, 片岡典子, 太田美穂, 小網博之, 三池 徹, 櫻井良太, 八幡真由子, 梅香 満, 岩村高志, 永嶋 太, 井上 聡, 山田クリス孝介: 当院救急IC 開設におけるチーム医療推進についての紹介. 第26回日本集中治療医学会九州地方会 (一般演題「患者管理・その他」B-46). 2016, 6, 25. 第26回日本集中治療医学会九州地方会プログラム・抄録

集 p74.

- 5 八幡真由子：熊本地震対応を踏まえた，災害時地域包括ケアの考察．第39回佐賀救急医学会（ワークショップ⑥）．2016， 9， 3．第39回佐賀救急医学会 p27.
- 6 山田クリス孝介：看護における医美工連携プロジェクト．第39回佐賀救急医学会（ワークショップ⑧）．2016， 9， 3．第39回佐賀救急医学会 p28.
- 7 山田クリス孝介，藤井 進：佐賀 MIRCA サービス．第39回佐賀救急医学会（パネルディスカッション）．2016， 9， 3．第39回佐賀救急医学会 p22.

その他の学会

- 1 阪本雄一郎：病院前救急診療と柔道整復師との連携について．第14回骨傷科尊塾講演会（特別講演）．2016， 1， 10.
- 2 八幡真由子：一般的なトリアージ（1次および2次）について．第14回骨傷科尊塾講演会（招待講演）．2016， 1， 10.
- 3 阪本雄一郎：委員．第9回多施設共同試験特別委員会．2016， 1， 16.
- 4 阪本雄一郎：第3回12誘導心電図伝送を考える会．2016， 1， 16.
- 5 阪本雄一郎：講師．特定非営活動法人 日本外傷診療研究機構「AIS コーティングのためのセミナー」．2016， 1， 23.
- 6 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略－抗凝固療法の実臨床および基礎研究の知見をふまえて－．第5回SACフォーラム（演者）．2016， 1， 27.
- 7 阪本雄一郎：幹事．第20回エンドトキシン血症救命治療研究会 幹事会．2016， 1， 29.
- 8 阪本雄一郎：司会．第21回エンドトキシン血症救命治療研究会．2016， 1， 30.
- 9 阪本雄一郎：座長．第5回救急フォーラム（一般演題）．2016， 2， 10.
- 10 今長谷尚史：敗血症レジストリについて．第5回救急フォーラム（一般演題）．2016， 2， 10.
- 11 阪本雄一郎：座長．第5回佐賀救急フォーラム．2016， 2， 10.
- 12 今長谷尚史：敗血症レジストリについて．第6回佐賀救急フォーラム（一般演題）．2016， 2， 10.
- 13 阪本雄一郎：敗血症の塗料戦略～急性血液浄化療法と各種メディエーターを中心に～．静岡急性血液浄化講演会（特別講演）．2016， 2， 12.
- 14 阪本雄一郎：新たな敗血症マネジメント－臓器障害とDIC対策－．第43回日本集中治療医学会学術集会（ランチョンセミナー16）．2016， 2， 11-14.
- 15 阪本雄一郎：座長．第43回日本集中治療医学会学術集会（イブニングセミナー4 新たな敗血症バンドルを考察する～多臓器不全へ立ち向かう～）．2016， 2， 11-14.
- 16 阪本雄一郎：第37回全国国公立大学病院救急部協議会及び同協議会看護部会．2016， 2， 19.
- 17 阪本雄一郎：高齢化時代の救急医療．第3回武雄杵島地区医師会．在宅医療市民公開講座．2016， 2， 20.
- 18 阪本雄一郎：日本救急医学会 平成28年度定時社員総会．2016， 2， 24.
- 19 阪本雄一郎：第6回交通事故障害予測と自動通報に関する検討委員会．2016， 2， 24.
- 20 今長谷尚史：座長．第3回Seminar of Apheresis for Septic Shock（特別講演Ⅰ）．2016， 2， 25.
- 21 阪本雄一郎：座長．第3回Seminar of Apheresis for Septic Shock（特別講演Ⅱ）．2016， 2， 25.
- 22 阪本雄一郎：座長．第3回Seminar of Apheresis for Septic Shock．2016， 2， 25.
- 23 阪本雄一郎：第7回さが救急ネットに関する会議．2016， 2， 25.

- 24 阪本雄一郎：「佐賀県在宅医療支援体制の地域モデル構築事業」の紹介. 平成27年度 佐賀県在宅医療支援体制の地域モデル構築事業 公開シンポジウム. 2016, 2, 28.
- 25 阪本雄一郎：委員長. 佐賀県メディカルコントロール検証委員会. 2016, 2, 29.
- 26 阪本雄一郎：敗血症の治療戦略～急性血液浄化療法と各種メディエーターを中心にして～. 健和会 大手町病院急性血液浄化セミナー（講演）. 2016, 3, 1.
- 27 阪本雄一郎：司会. 第52回日本腹部救急医学会総会シンポジウム2). 2016, 3, 3.
- 28 阪本雄一郎：第52回日本腹部救急医学会評議委員会. 2016, 3, 4.
- 29 阪本雄一郎：平成27年度第2回佐賀県中部地区MC検証作業部会. 2016, 3, 7.
- 30 阪本雄一郎：ME センターミーティング. 2016, 3, 8.
- 31 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略－抗凝固療法の実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 荒尾市外科系臨床医会講演会（特別講演）. 2016, 3, 8.
- 32 阪本雄一郎：Plasma Filtration with Dialysis. 2016, 3, 10.
- 33 阪本雄一郎：病院前救急診療と柔道整復師との連携について. 公益社団法人熊本県柔道整復師会（講師）. 2016, 3, 13.
- 34 阪本雄一郎：高齢化時代の救急医療体制～佐賀から全国モデル発信の挑戦～. 佐賀県救急医療従事者研修会（特別講演Ⅱ）. 2016, 3, 11.
- 35 岩村高志：心肺停止への対応～最新版～. 佐賀県救急医療従事者研修会（特別講演Ⅰ）. 2016, 3, 11.
- 36 岩村高志：座長. 第7回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会（一般演題）. 2016, 3, 23.
- 37 阪本雄一郎：世話人. 第6回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会. 2016, 3, 23.
- 38 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略－抗凝固療法の実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 秋田敗血症・DIC対策セミナー（特別講演）. 2016, 3, 26.
- 39 阪本雄一郎：ポリミチシンB固定化繊維カラム（PMX）の機械論－基本設計と作用に関する考察－. 学内講演会. 2016, 3, 29.
- 40 阪本雄一郎：敗血症治療のBreakthrough～避け得た敗血症死 ZERO を目指して～. 北摂・北河内敗血症セミナー. 2016, 4, 8.
- 41 阪本雄一郎：重症敗血症及び敗血症性ショックの病態と治療. 急性血液浄化療法セミナー（特別講演）. 2016, 4, 23.
- 42 阪本雄一郎：AED講習会. 2016, 5, 2.
- 43 阪本雄一郎：CPA（心肺停止）の病態生理と低体温療法における患者管理・観察のポイント. 日総研セミナー（講師）. 2016, 5, 15.
- 44 阪本雄一郎：座長. 第19回日本臨床救急医学会総会（口演26 外傷2）. 2016, 5, 12-14.
- 45 阪本雄一郎：座長. 第30回日本外傷学会（一般演題28）. 2016, 5, 30-31.
- 46 阪本雄一郎：日本外傷学会トラウマレジストリー検討委員会. 2016, 5, 31.
- 47 阪本雄一郎：敗血症治療のBreakthrough～避け得た敗血症死 ZERO を目指して～. 第5回信州敗血症セミナー. 2016, 6, 3.
- 48 阪本雄一郎：救急医療体制への貢献と研究－血液凝固を中心に. 滋賀医科大学 救急・集中治療部カンファランス. 2016, 6, 10.
- 49 阪本雄一郎：日本急性血液浄化学会理事会. 2016, 6, 11.

- 50 小網博之, 阪本雄一郎: Over 3-year clinical experience of thromboelastometry in emergency department. TEM 社製 ROTEM 製品情報交換会 (演者). 2016, 6, 23.
- 51 三池 徹: 演者: 臨床医における Point of Care Testing の可能性. 第2回 ER Medicina Conferenza. 2016, 6, 23.
- 52 阪本雄一郎: 座長. 基礎から学ぶ全身管理セミナー (特別講演). 2016, 6, 15.
- 53 今長谷尚史: 演者: 重症患者に対する循環管理～敗血症患者における循環作動薬の使用について～. 基礎から学ぶ全身管理セミナー (特別講演). 2016, 6, 15.
- 54 阪本雄一郎: 評議員. 日本臨床高気圧酸素・先生医学会評議員会. 2016, 6, 24.
- 55 阪本雄一郎: 評議員. 日本集中治療医学会2016年度評議員会. 2013, 6, 25.
- 56 阪本雄一郎: 座長. 日本集中治療医学会九州地方会 (一般演題「蘇生・外傷・中毒」). 2016, 6, 25.
- 57 山田クリス孝介: 座長. 日本人間工学会第57回大会(一般演題 2D3 高齢者・福祉). 2016, 6, 25-26.
- 58 阪本雄一郎: 委員. 佐賀県医療機関情報・救急医療情報システム (99さがネット) に関する会議. 2016, 6, 27.
- 59 阪本雄一郎: 演者: 敗血症治療の Breakthrough～避け得た敗血症死 ZERO を目指して～. Sakai Sepsis Seminar (特別講演). 2016, 7, 2.
- 60 阪本雄一郎: パネリスト. 交通事故自動通報による救急医療革命による救急医療革命 (パネルディスカッション). 2016, 6, 29.
- 61 阪本雄一郎: 敗血症治療戦略における血液浄化療法の突破口. 第53回広島血液浄化カンファレンス (特別講演). 2016, 7, 7.
- 62 阪本雄一郎: CPA (心肺停止) の病態生理と低体温療法における患者管理・観察のポイント. 日総研セミナー (講師). 2016, 7, 9.
- 63 阪本雄一郎: 委員長. 平成28年度第1回佐賀県 MC 検証作業部会. 2016, 7, 11.
- 64 阪本雄一郎: 委員. 第11回多施設共同試験特別委員会. 2016, 7, 16.
- 65 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略における急性血液浄化療法. 第26回中之島カンファレンス (特別講演). 2016, 7, 16.
- 66 阪本雄一郎: 座長. 敗血症治療の医師力アップセミナー2016 (教育講演). 2016, 7, 22.
- 67 阪本雄一郎: 演者: 敗血症治療の Breakthrough～避け得た敗血症死 ZERO を目指して～. 奈良消化器疾患フォーラム. 2016, 7, 28.
- 68 阪本雄一郎: CPA (心肺停止) の病態生理と低体温療法における患者管理・観察のポイント. 日総研セミナー (講師). 2016, 8, 6.
- 69 阪本雄一郎: 第1回放射線と放射能の基礎知識. 原子力防災基礎研修. 2016, 8, 8.
- 70 阪本雄一郎: 第2回放射線と放射能の基礎知識. 原子力防災基礎研修. 2016, 8, 10.
- 71 阪本雄一郎: 司会. 市民公開シンポジウム 熊本地震から佐賀の防災を考える. 2016, 8, 10.
- 72 阪本雄一郎: 委員. Acute Care Surgery 学会カリキュラム開発委員会. 2016, 8, 11.
- 73 阪本雄一郎: 委員. 平成28年度第2回児童虐待に関する委員会. 2016, 8, 17.
- 74 阪本雄一郎: 委員長. 第12回ドクターヘリ運航調整委員会. 2016, 8, 16.
- 75 阪本雄一郎: 救急現場からみたこれからの急性期病院に求められるものとは?. 長崎講演. 2016,

- 8, 23.
- 76 阪本雄一郎：Sepsis- 3時代の敗血症治療とDICの位置づけ. 感染症TV講演会(演者). 2016, 8, 24.
- 77 阪本雄一郎：座長. 感染症TV講演会. 2016, 8, 24.
- 78 阪本雄一郎：委員. 第2回佐賀県自殺対策協議会. 2016, 9, 2.
- 79 阪本雄一郎：第39回佐賀救急医学会. 2016, 9, 3.
- 80 阪本雄一郎：司会. 第39回佐賀救急医学会(特別講演). 2016, 9, 3.
- 81 阪本雄一郎：敗血症と凝固障害～泌尿器感染症の話も含めて～. 佐賀大学泌尿器科臨床セミナー(特別講演). 2016, 9, 6.
- 82 阪本雄一郎：敗血症治療のBreakthrough～避け得た敗血症死ZEROを目指して～. Stop Sepsis Seminar2016(演者). 2016, 9, 14.
- 83 阪本雄一郎：委員. 日本Acute Care Surgery学会 カリキュラム開発委員会・NCD外傷術式検討委員会. 2016, 9, 14.
- 84 阪本雄一郎：敗血症のBreakthrough～避け得た敗血症死ZEROを目指して～. 茨城敗血症道場(特別講演). 2016, 9, 16.
- 85 阪本雄一郎：司会. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会(一般演題9). 2016, 9, 16-17.
- 86 阪本雄一郎：救命救急と建築にかかわること. 第2回リフォームドクタープランナー塾(講師). 2016, 9, 18.
- 87 阪本雄一郎：CPA(心肺停止)の病態生理と低体温療法における患者管理・観察のポイント. 日総研セミナー(講師). 2016, 9, 22.
- 88 阪本雄一郎：外傷初期診療の診断と治療. 日本救急看護学会主催 救急看護セミナー基礎病態セミナー(講師). 2016, 9, 24-25.
- 89 阪本雄一郎：敗血症治療のBreakthrough～避け得た敗血症死ZEROを目指して～. Sepsis学術講演会(特別講演). 2016, 10, 7.
- 90 阪本雄一郎：MCの基本と運用の理解. 平成28年度病院前医療体制における指導医等研修プログラム(講師). 2016, 10, 13.
- 91 阪本雄一郎：委員. 第12回多施設共同試験特別委員会. 2016, 10, 16.
- 92 阪本雄一郎：世話人. 第7回日本臨床外科学会佐賀県支部会学術集会世話人会. 2016, 10, 26.
- 93 阪本雄一郎：臨床デザインおよび被験者選定の実際と求められる治療薬像. 敗血症における最新モデル動物の作製・評価と新規治療薬開発(演者). 2016, 10, 27.
- 94 阪本雄一郎：ワークショップ. 血液浄化装置ワークショップ. 2016, 10, 27.
- 95 阪本雄一郎：熊本地震での佐賀県DMATの活動について. 地域防災力充実強化大会in佐賀2016(事例発表). 2016, 10, 28.
- 96 阪本雄一郎：敗血症治療のBreakthrough～避け得た敗血症死ZEROを目指して～. 天草救急医療学術講演会(演者). 2016, 11, 10.
- 97 阪本雄一郎：会議. 第1回「臨床および臨床研究の充実のための本人に関する多種多様な情報のデジタル化・ネットワーク化及び統合的な利活用を可能とする基盤技術に関する研究」. 2016, 11, 18.
- 98 今長谷尚史：座長. 第44回日本救急医学会総会(学生・研修医セッションポスター11：救急疾患2).

- 2016, 11, 17-19.
- 99 櫻井良太：座長. 第44回日本救急医学会総会（ポスター22ER（呼吸））. 2016, 11, 17-19.
- 100 太田美穂：座長. 第44回日本救急医学会総会.（口演3：急性大動脈疾患・心不全）. 2016, 11, 17-19.
- 101 阪本雄一郎：座長. 第44回日本救急医学会総会（口演42：腹部外傷）. 2016, 11, 17-19.
- 102 阪本雄一郎：会議. 平成28年度医療機関ネットワーク事業参画病院長会議. 2016, 11, 22.
- 103 阪本雄一郎：平成28年度評議員会（第78回総会）. 2016, 11, 24.
- 104 阪本雄一郎：呼吸がわかるモニタリング. 呼吸セミナー in 鳥栖～人工呼吸器の理解と安全管理～（講演Ⅱ）. 2016, 11, 26.
- 105 阪本雄一郎：救急現場からみたこれからの急性期病院に求められるものとは. 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院救命救急センター指定10周年記念式典（記念講演）. 2016, 11, 26.
- 106 阪本雄一郎：評議員. 日本臨床外科学会 平成28年度評議委員会（第78回総会）. 2016, 11, 24.
- 107 阪本雄一郎：世話人. バイオメディカルフォーラム役員会. 2016, 12, 3.
- 108 阪本雄一郎：Risk management in Saga prefecture and correspondence to kumamotoearthquake. 5th korea-Japan Crisis & Emergency management seminar. 3rd Global Crisisonomy Symposium, 3rd Disaster Scientific Research forum. (key Note Speech). 2016, 12, 3.
- 109 阪本雄一郎：委員長. 第2回佐賀県メディカルコントロール検証作業部会. 2016, 12, 12.
- 110 阪本雄一郎：座長. 第67回聖マリア医学会学術集会. 2016, 12, 22.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授 助教	阪本雄一郎 山田クリス孝介	タカタ財団研究助成プログラム	(分担)	救急救命センターと連携する交通事故自動通報システムによる交通弱者の被害軽減	2,500
助教 教授	小網 博之 阪本雄一郎	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	熱傷創部の植皮術に適した3次元培養皮膚作成における脂肪由来間葉系幹細胞の機能解析	1,400
教授	阪本雄一郎	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	大規模医療情報基盤を利用した敗血症の治療に関する医療経済学的分析と評価	1,690
助教	山田クリス孝介	科学研究費助成事業	基盤研究(B)	地域救急医療の質の向上に資する科学的証拠の構築に関する研究	5,590
教授 助教	阪本雄一郎 山田クリス孝介	科学研究費助成事業	基盤研究(B) (分担)	ケアリングの実践知を日常的に共有するための支援モデルの構築	4,680
教授	阪本雄一郎	日本医療研究開発機構	パーソナル・ヘルス・レコード(PHR)活用研究事業	臨床および臨床研究の充実のための本人に関する多種多様な情報のデジタル化・ネットワーク化及び統合的な利活用を可能とする基盤技術に関する研究	51,719
助教	山田クリス孝介	科学技術振興機構	平成28年度問題解決型サービス科学研究開発プログラム「未来を共創するサービス研究開発」の可能性調査 (分担)	未来の安心のための災害避難所に関するレジリエンスサービス実装の可能性調査	3,000

学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
助教	三池 徹	ベスト・ペーパー賞	頭部衝撃時の脳細胞のマイクロ損傷解析
教授	阪本雄一郎	ベスト・ペーパー賞	頭部衝撃時の脳細胞のマイクロ損傷解析